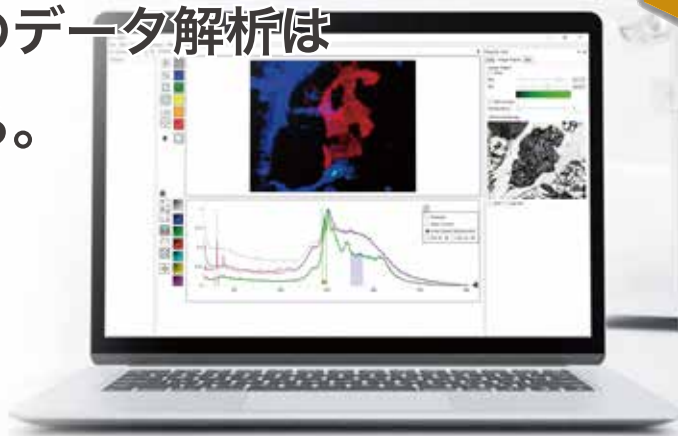


無料
トライアル
実施中!!

ハイパースペクトル画像のデータ解析は ここまで早く、快適になる。

ハイパースペクトル画像データ解析ソフトウェア

Insight



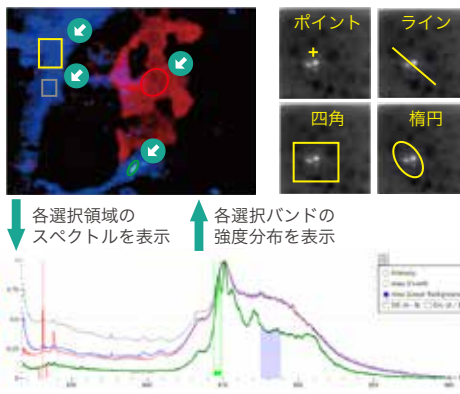
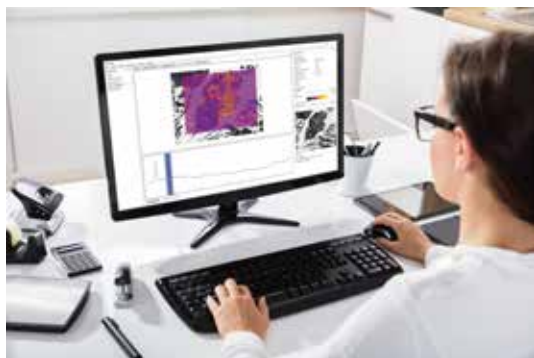
動作環境：Windows 10 64bit

製品の特長

マウスひとつでだれでも使えるカンタン操作

4種のROI選択モードと多彩な表示モードで、サクサク快適データ閲覧。

だれもが使う基本機能のユーザビリティにこだわり、だれもが使えるGUIに仕上がりました。



マウスで狙ってカンタンROI選択

4種のROI選択モードにより、気になる領域だけを狙って選択してスペクトルを表示できます。顕微鏡画像とスペクトル画像を重ね合わせて表示することも可能です。

多彩な表示モードで多成分の分布を可視化

気になるピークにマウスでROIを設定するだけで、同時に最大6つの成分をマルチカラーで表示。ピークの強度分布や面積強度分布のほか強度差や強度比の可視化も可能です。

製品の特長

高度な画像解析とスペクトル解析も、Insightひとつで完結

高機能かつ使いやすいスペクトル解析、画像解析、数値計算機能。

分光イメージングに関する技術と経験が結実したスペクトル画像データ解析のスタンダード。



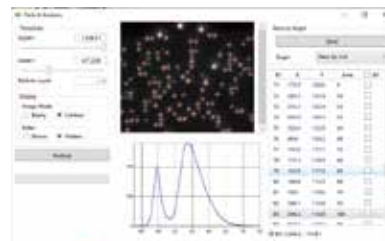
高度なピークフィッティング機能

ピーク位置やピーク幅、強度を計算し、その分布を可視化できます。



多粒子スペクトル解析機能

設定した閾値から粒子を自動判別。粒子ごとのスペクトルをリスト化します。



→特殊な解析機能もカスタマイズで対応!

無料トライアル
実施中!!

Insight のすべての機能をお試し可能です。

7日間無料トライアル実施中!!

お申し込み



URL入力 もしくは QR コードから!

ScienceEdge.com/trial-J



自作の顕微分光システムに プロのソフトウェアを。

顕微分光システム統合・制御ソフトウェア

Mw Mapper

動作環境：Windows 10 64bit

製品の特長

どんな複雑な測定シーケンスも、測定ボタンを押すだけでOK

あらゆるデバイスを統合制御し、ユーザーの望む測定シーケンスを実現。

ラボモードの光計測装置と分光顕微鏡のための万能プラットフォームを提供します。



MwMapperを適用したラマン・SHGハイブリッド顕微鏡
(徳島大学 南川丈夫先生の実験システム)



シーケンス設定画面

多彩な測定をサポートするGUIとシーケンス・コントロール

顕微鏡画像を見ながらマウスで測定範囲を指定し、スライドバーやプルダウンメニューで測定条件を設定。測定シーケンスには測定前の準備と測定後の処理が含まれ、ユーザーが自由に設定できます。測定中は継続してデータ表示解析ソフト Insight と通信しており、イメージング測定中においても、データの表示更新、コントラスト調整、スペクトル画像の波長バンドの選択などが可能です。

あらゆるタイプのデバイスが動作する万能プラットフォーム

MwMapper は、ユーザーインターフェース / 抽象デバイス / 実デバイスの3層構造となっています。抽象デバイスにユーザー所有のデバイスを設定するだけで、システムの統合制御が可能です。

適用できるシステムアプリケーションの例



- ・レーザー顕微鏡・コンフォーカル顕微鏡
- ・SHG 顕微鏡 (Second Harmonic Generation)
- ・フォトルミネッセンス (PL) 分光顕微鏡
- ・フォトサーマル IR 顕微鏡
- ・蛍光顕微鏡
- ・ラマン顕微鏡
- ・反射分光顕微鏡
- ・散乱分光顕微鏡
- ・吸収分光顕微鏡
- ・顕微 FTIR 装置
- ・LIBS 顕微鏡
- ※上記の複合装置にも適用可能

お客さまインタビュー | 徳島大学 ポスト LED フォトニクス研究所 南川 丈夫 准教授

「自作の顕微鏡を、誰もが使える“市販品”へと変えてくれるソフトが必要でした」



南川丈夫准教授

ラマン&SHG
複合顕微鏡



「ラマン顕微鏡の病理学への応用をテーマに研究を進めており、いま是非アルコール性脂肪性肝疾患における脂肪の分析に取り組んでいます。研究室で顕微鏡を開発して LabVIEW を駆使して使っていましたが、操作性に課題を感じていました。とくにイメージングの測定中にスペクトルと画像を確認できないため、測定条件を吟味しづらい点が大きな問題でしたが、サイエンスエッジのソフトウェアを導入して、これらの問題はすっきり解決できました。インターフェースは直感的に操作できるデザインですし、できるだけ光学系に触らずソフトですべて制御できるようにしてもらったので医学部の人でも抵抗なく使える装置になりました。サイエンスエッジは顕微鏡や分光のプロなので、詳しく説明しなくても細部にわたって満足度の高いソフトに仕上げてくれる点が魅力ですね」

インタビュー全文は、サイエンスエッジ株式会社のホームページにて →

